

V. 学校教育実践高度化専攻（教職大学院）で取得できる専修免許状

1. 本専攻で取得できる専修免許状

本専攻では、現在取得している教員免許状を基礎にして、幼稚園、小学校、中学校（各教科）、高等学校（各教科）の専修免許状を、表1のとおり取得できる。

本専攻で取得できる専修免許状(表1)

教員免許状の種類	教科	基礎免許状	最低必要単位数 (本専攻)	
		(既取得していることを必要とする)	大学が独自に設定する科目	特別支援教育に関する科目
幼稚園教諭専修免許状		取得しようとする専修免許状(中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科)の一種免許状を有すること	24	
小学校教諭専修免許状			24	
中学校専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 英語		24	
高等学校教諭専修免許状	国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 書道, 保健体育, 保健, 家庭, 情報, 農業, 工業, 商業, 水産, 英語		24	
養護教諭専修免許状			養護教諭一種免許状を有すること	24
特別支援学校教諭専修免許状 (知的障害者に関する教育の領域) (肢体不自由者に関する教育の領域) (病弱者に関する教育の領域)		特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者, 肢体不自由者, 病弱者)を有すること		24

2. 教員免許状取得の所要資格

専修免許状の所要資格を得ようとする場合には、その免許状にかかる一種免許状を有することが必要である。取得に必要な資格要件は、表2のとおりである。

教員免許状取得の所要資格(表2)

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数 (本専攻)	科目区分
幼稚園教諭専修免許状	修士の学位及び幼稚園教諭一種免許状を有すること。	24	大学が独自に設定する科目 (次頁の各専修免許状に対応する授業科目を確認すること。)
小学校教諭専修免許状	修士の学位及び小学校教諭一種免許状を有すること。	24	
中学校教諭専修免許状	修士の学位及び中学校教諭一種免許状を有すること。	24	
高等学校教諭専修免許状	修士の学位及び高等学校教諭一種免許状を有すること。	24	
養護教諭専修免許状	修士の学位及び養護教諭一種免許状を有すること。	24	
特別支援学校教諭専修免許状 (知的障害者に関する教育の領域) (肢体不自由者に関する教育の領域) (病弱者に関する教育の領域)	修士の学位及び特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者, 肢体不自由者, 病弱者)を有すること。	24	特別支援教育に関する科目

3. 各専修免許状に対応する授業科目

各専修免許状に対応する授業科目は、表3（1～3）のとおりである。各自が取得しようとする専修免許状に照らして、必要な単位数（表2参照）を修得すること。

開設授業科目と免許状の種類(表3-1)

科目区分		授業科目名	単位数	幼稚園	小学校	中学校※	高等学校※	養護教諭
大学が独自に設定する科目	教育に関する基礎的科目理解に	学校を基盤とするカリキュラム開発	2	○	○	○	○	○
		特色ある教育課程とそのデザイン	2	○	○	○	○	○
		学級経営の実践と課題	2	○	○	○	○	○
		自律的学校経営の理論と実践	2	○	○	○	○	○
		学校教育の役割と教師の成長	2	○	○	○	○	○
		鹿児島における学校教育と教員のあり方	2	○	○	○	○	○
		学校の安全・安心と危機管理	2	○	○	○	○	○
		グループダイナミクスからみた学級経営	2	○	○	○	○	○
		学校づくりと教師	2	○	○	○	○	○
		教師の専門性と教育調査研究	2	○	○	○	○	○
		学校経営と組織マネジメント	2	○	○	○	○	○
		授業研究の理論と実践	2	○	○	○	○	○
		学校研究の手法と実践	2	○	○	○	○	○
	の指導、総合的な学習の時間等 相談に関する科目	教材研究, 指導方法, 評価に関する実践的課題とその改善	2	○	○	○	○	○
		ICT活用と授業デザイン	2	○	○	○	○	○
		教育相談の方法と実践	2	○	○	○	○	○
		学校における生徒指導の実践と課題	2	—	○	○	○	○
		特別の教科道徳の授業デザイン論	2	—	○	○	—	○
		次世代型教育コンテンツの開発Ⅰ	2	○	○	○	○	○
		次世代型教育コンテンツの開発Ⅱ	2	○	○	○	○	○
		生活科・総合的な学習のカリキュラム開発	2	—	○	○	○	○
		特別活動の理論と実践	2	—	○	○	○	○
		いじめ・不登校への組織的対応	2	—	○	○	○	○

開設授業科目と免許状の種類(表3-2)

科目区分	授業科目名	教科名	単位数	中学校 ※	高等学校
大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語科指導法の省察と開発	2	○	○
		国語科・書道指導法の省察と開発	2	○	—
		国語科・書道指導法の省察と開発	2	—	○
		社会科・地理歴史科指導法の省察と開発	2	○	—
		社会科・公民科指導法の省察と開発	2	○	—
		社会科・地理歴史科指導法の省察と開発	2	—	○
		社会科・公民科指導法の省察と開発	2	—	○
		数学科指導法の省察	2	○	○
		数学科指導法の開発	2	○	○
		理科指導法の省察	2	○	○
		理科指導法の開発	2	○	○
		英語科指導法の省察	2	○	○
		英語科指導法の開発	2	○	○
		音楽科指導法の省察	2	○	○
		音楽科指導法の開発	2	○	○
		美術科指導法の省察	2	○	○
		美術科指導法の開発	2	○	○
		保健体育科指導法の省察	2	○	○
		保健体育科指導法の開発	2	○	○
		技術科指導法の省察	2	○	—
		技術科指導法の開発	2	○	—
		家庭科指導法の省察	2	○	○
		家庭科指導法の開発	2	○	○

開設授業科目と免許状の種類(表3-3)

科目区分	授業科目名	単位数	特別 支援
特別支援教育に関する科目	特別支援教育とカリキュラム・マネジメント	2	○
	発達障害児の心理臨床	2	○
	インクルーシブ教育における教師の専門性	2	○
	特別支援教育高度化実践実習Ⅰ	2	○
	特別支援教育高度化実践実習Ⅱ	2	○
	特別支援教育重点領域実践実習Ⅰ	1	○
	特別支援教育重点領域実践実習Ⅱ	1	○
	特別支援教育開発実践実習Ⅰ	2	○
	特別支援教育開発実践実習Ⅱ	4	○
	特別支援教育教職課題研究Ⅰ	3	○
	特別支援教育教職課題研究Ⅱ	3	○
	発達障害サポートシステム開発	2	○
	知的・発達障害指導法	2	○
	障害の多様性とその支援Ⅰ	2	○
	障害の多様性とその支援Ⅱ	2	○
	発達障害の医療と支援	2	○
	心身障害科学	2	○
	障害児の心理的理解と支援	2	○